



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

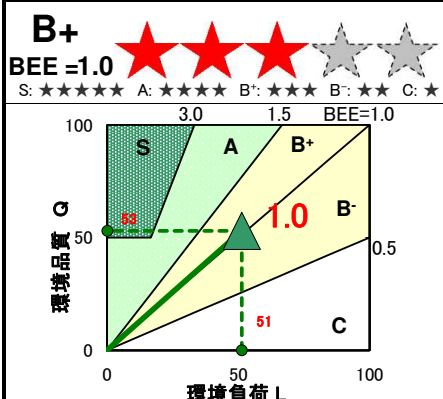
1-1 建物概要

| | | | |
|---------|--------------------------|----------------|------|
| 建物名称 | (仮称)奥野製薬工業株式会社 第一工場 新築工事 | | |
| 建設地 | 鶴見区放出東1丁目 | | |
| 建築用途 | 工場 | | |
| 建築主 | 奥野製薬工業(株) | | |
| 設計者 | (株)安井建築設計事務所 | | |
| 敷地面積 | 3,821.72 | m ² | |
| 建築面積 | 1,865.44 | m ² | |
| 延床面積 | 7,222.32 | m ² | |
| 構造/階数 | S造 | / | 地上5階 |
| 完了年(予定) | 2025年12月 | | |

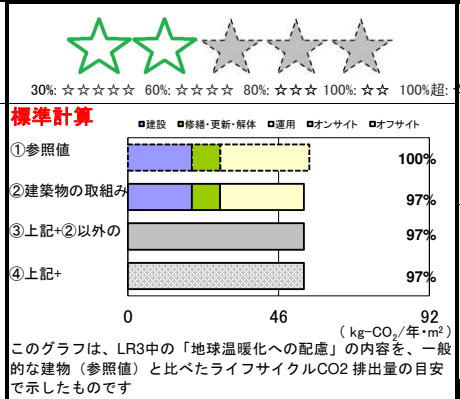
1-2 外観



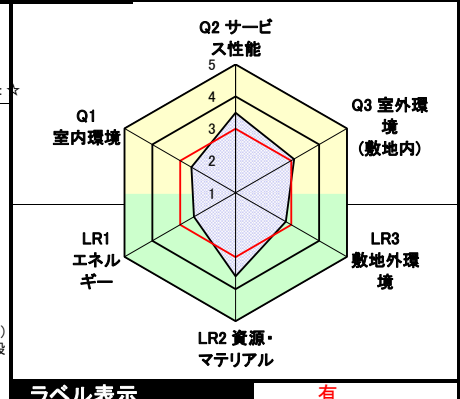
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



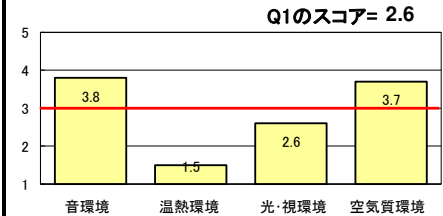
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



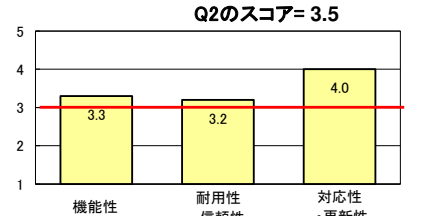
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

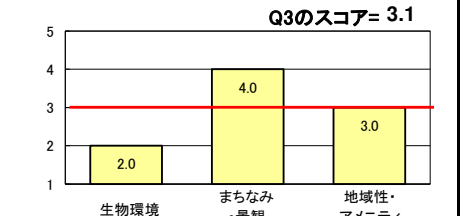
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

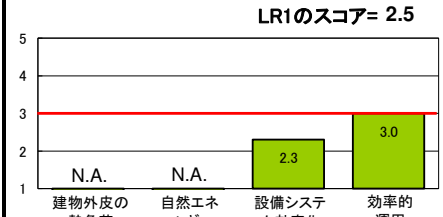


Q3 室外環境 (敷地内)

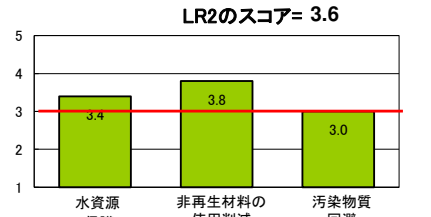


LR 環境負荷低減性

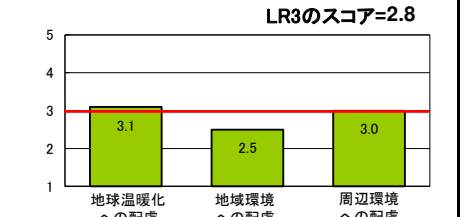
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

工場の運用を支える建物となるように、適切な室内環境とサービス性能を兼ね備えた計画とした。また、企業の姿勢を発信する外観計画、社員や地域の人々に安心や潤いをもたらす外構計画とした。

その他

特に無し。

Q1 室内環境

工場内の機能・用途に合わせて、適材適所に音環境、温熱環境、光環境、空気質環境を整えた。

Q2 サービス性能

工場という用途より、空間のゆとり、荷重のゆとり、維持管理の容易性、更新の容易性について配慮した設計を行った。

Q3 室外環境 (敷地内)

敷地外周部の緑化や、隣接する敷地内の建物との調和など、まちなみや景観に配慮した設計を行った。

LR1 エネルギー

設備システムの高効率化を意図した設計を行った。

LR2 資源・マテリアル

節水型器具やリサイクル材、再利用可能な材料を積極的に採用した。

LR3 敷地外環境

十分な駐車スペースの設置や、渋滞緩和に寄与する導入路の設置を行った。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



| 環境性能 | 評価点 |
|----------------|---|
| (1)CO2削減 | 3.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR3/ 1 / / | 地球温暖化への配慮 3.1 一次エネルギー消費量の削減によりCO2排出量を削減 |
| 配慮事項 | 高効率の機器を採用することで、一次エネルギー消費量を削減し、CO2排出量の削減に配慮した。 |

| 環境性能 | 評価点 |
|-------------------------|---|
| (2)みどり・ヒートアイランド対策 | 2.0 |
| みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| Q3 / 1 / / | 生物環境の保全と創出 2.0 敷地外周部を積極的に緑化 |
| Q3 / 3 / 3.2/ | 敷地内温熱環境の向上 3.0 歩行者空間に対して風を導き、排熱を遠ざける |
| LR3/ 2 / 2.2/ | 温熱環境悪化の改善 2.0 地域の風環境を把握 |
| 配慮事項 | 敷地外周部を積極的に緑化し、歩行者空間に対して風を導き、排熱を遠ざける計画とした。 |

| 環境性能 | 評価点 |
|----------------|------------------|
| (3)建物の断熱性 | 0.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR1/ 1 / / | 建物の熱負荷抑制 0.0 対象外 |
| 配慮事項 | 対象外 |

| 環境性能 | 評価点 |
|----------------|---------------------------|
| (4)エネルギー削減 | 2.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR1/ 3 / / | 設備システムの高効率化 2.3 高効率の機器を採用 |
| 配慮事項 | 工場の用途に合った高効率の設備機器を採用した。 |

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 非住宅部分[BEI][BEIm]
 - (相当) -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 住宅部分[BEI] 非住宅部分[BEI][BEIm]
 0.94 - 0.94